

平成31年3月25日

第35回洞南地区地域包括ケア推進会議 アンケート結果

参加者数： 24 名

回答者数： 17 名

回答率： 70 %

1. あなたの職業は

医療・介護従事者・・・計 7 名

・ケアマネ 4名
・看護師 2名
・職種未記入 1名

その他・・・計 10 名

・一般・主婦・入居者家族 3名
・教員 1名
・金融 1名
・サービス業 1名
・未記入 4名

2. ACPを知っていましたか。

①知っていた
(7 名)

②知らなかった
(10 名)

3. ACPを知っていたと答えた方。どのようにして知りましたか。

・地域包括ケア推進会議(金融)
・リビング・ウィルから知っている(教員)
・研修 (ケアマネ 2名)
・入退院連携会議(ケアマネ)
・雑誌・研修(看護師・医療介護従事者)

4. 講演内容は理解しやすいものでしたか。

①はい
(17 名)

②いいえ
(0 名)

未回答
(0 名)

5. どのようなことが印象に残りましたか。(感想も含む)

- ・「ACPについて考えることが大事」と理解できた。(その他)
- ・「予後1年を目安とする」「命を短くする判断は本人でなければ判断しにくい」ということが印象に残った。(Ns)
- ・知れてよかった(入居者家族)
- ・義母が4年前に尊厳死協会に入会したため、現在のつながりにとても興味がある。(一般)
- ・看取りの話をする時にいつも悩む。寄り添った声かけができるよう勉強していきたい。(ケアマネ)
- ・銀行として手伝えることのできる分野で協力したい。ライフプランニングの中でACPの重要性を伝えたい。(金融)
- ・人生会議をより多くの方が理解でき、広められたらと思った。(ケアマネ)
- ・自分をもっと知り、家族にも知らせたい。(その他)
- ・より患者の意向が尊重されたケアが実践されれば、患者と家族の満足度が向上し、
遺族の不安や抑うつが減少すると思う。(看護師)
- ・「本人の意思表示」できる機会を持てるような周りの支援が大切だと感じた。(ケアマネ)
- ・終末期の意思決定を考えさせられた。自分ならどうするかはその時の状況だと思う。(サービス業)
- ・自分の時の決断と家族の時の決断、難しく感じる。その時々で気持ちは揺れ動く。(医療介護従事者)
- ・家族でACPについて話し合う機会を持つ必要がある。難しいが・・・(看護師)
- ・知識が全くない家族が多いので、自分で伝える事も大切だが、知る場が沢山あるといいと思った。(主婦)
- ・講演はわかりやすかったが実際の家族ではうまくいかない点が多く、頭を抱える。(一般)
- ・既存の活動をレビューして説明することが大事。(教員)

6. 今後、ACPを普及するために何が必要だと思いますか。

- ・ 動ける方が協力して話し合い実践していくこと(入居者家族)
- ・ 各分野での業務の協力、職場教育(金融)
- ・ かかりつけ医のACPに対する理解を深める事(CM)
- ・ いろいろな普及活動が必要。(サービス業)
- ・ 生き方と死に方について、いろんな団体への講演。もしバナカードもいいと思う。(その他)
- ・ 地域・家庭でのACPIに関する周知。(Ns.)
- ・ マスコミ等でもっと取り上げてほしい。医療・介護の現場で適切なタイミングで案内してもらいたい。(その他)
- ・ 地域の中で、市民センター等を活用し、一般の方たちへの講演会が必要だと思う。(主婦)
- ・ 厚労省や国の流れに本当に乗っていいのか？医療費を抑えるためだけなのでは？と感じる。(医療介護従事者)
- ・ 人生会議という言葉は止めるべき。日本語能力の欠如を感じる。(教員)